

Clazzio

SEAT COVER



TOYOTA
ALPHARD
VELLFIRE

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> **巻頭**

シートカバー装着前の注意事項

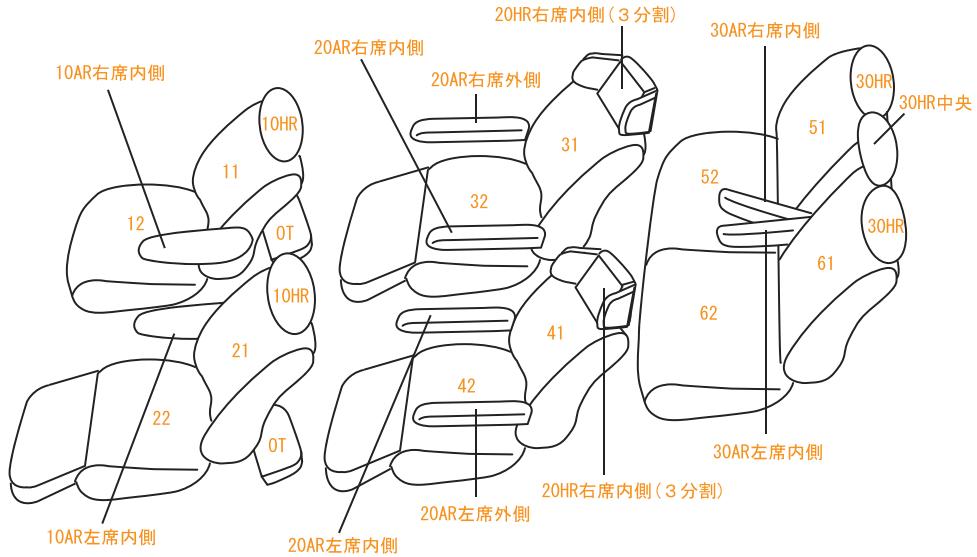
…> **01-22**

シートカバーの装着方法

…> **巻末**

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- この車種は上記の工具を使用します
- ① ソケットレンチセット ※13P参照、長めのソケットが必要です
 - ② プラスドライバー
 - ③ マイナスドライバー
 - ④ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例) 座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関しての注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てる、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあががつたり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製糸を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。
ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製糸を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製糸を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。
シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。
サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目に
なる縫い目を指で押して、シートのくぼみに
カバーの縫い目がしっかりと合っているか
を確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ぼった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれています。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、
サイドエアバッグがシートカバーから正常
に展開します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することができます。



①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがズレていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

運転席座面

※説明内で赤字で説明している部分はマイナーチェンジ前(ET-1504)と後(ET-1508)で固定方法が異なる部分です。



①座面カバーを取り付ける前に背もたれ裏側下の純正カバーを外します。



④運転席の座面カバーをかぶせます。



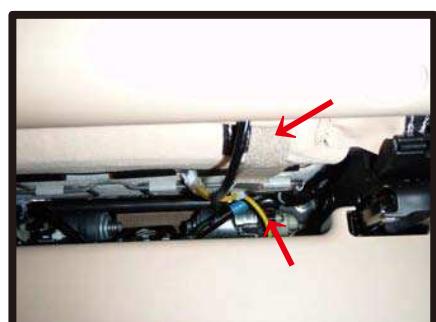
②純正カバーは座面下に図のようなプラスチックの部品で固定されています。これを、車体前側に向かってずらすと外れます。



⑤座面と背もたれの間にシートカバーを入れ込み、後ろ側から引き出します。



③外した純正カバーはフットレストの間から上に引き出しておきます。



⑥※マイナーチェンジ前のシートカバーです。

マイナーチェンジ前のシートカバーは後ろ側から引き出した生地に付いているマジックテープのベルトを座面下の金属フレームに巻き付けて固定します。品番 : ET-1504

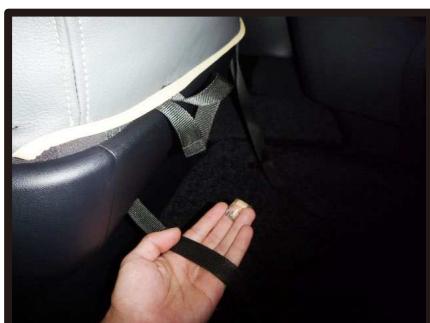


⑦シートカバーを座面本体に馴染ませるようにながらラインを合わせていきます。側面の生地をシートとプラスチックカバーの隙間に入れ込んでいきます。



⑧※マイナーチェンジ前のシートカバーです。

前側の生地も側面と同様にプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



⑨※マイナーチェンジ後のシートカバーです。

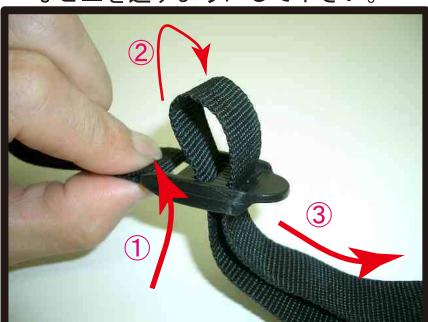
前側の生地に付いているベルトをプラスチックカバーの隙間を通して、シートの後ろ側から引き出します。

品番 : ET-1508



⑩※マイナーチェンジ後のシートカバーです。

ベルトはシート裏側を通して、シートの後ろ側から引き出します。シートの裏側を通す際は、図の金属バーなど上を通すようにして下さい。



⑪※マイナーチェンジ後のシートカバーです。

ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。



⑫運転席側座面の完成です。背もたれ裏の純正カバーは外したままにしておきます。

助手席座面



①オットマンを一番上の位置にして座面カバーをかぶせます。シートカバーの後ろ側は座面と背もたれの間を通して後ろから引き出しておきます。



②シートカバーを座面本体に馴染ませるようにしながらラインを合わせていきます。シートカバーの両横に付いている黒い部品をプラスチックカバーの隙間にに入れ込んでいきます。



③オットマンの先端部分にシートカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



④オットマンの左右に付いている長い方のゴムを、→で示す部品を押し下げながらオットマン内側へ通します。ゴムは2本ある金属の支持棒の間へ通して下さい。



⑤左右から通したゴムを付属のS字フックでつなぎます。



⑥オットマン左右の短い方のゴムは指で示すプラスチックカバーの裏側にS字フックで引っ掛けで固定します。

1列目背もたれ

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は表紙から5枚目と6枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し正確にシートカバーを取り付けてください。



⑦座面後ろ側のマジックテープベルトは、座面下の金属フレームに巻き付けて固定します。



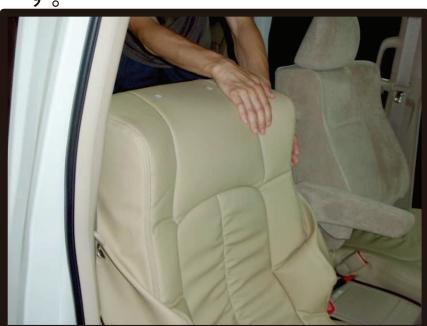
⑧助手席側座面の完成です。背もたれ裏の純正カバーは外したままにしておきます。



⑨図はオットマンを収納した状態です。



①背もたれカバーをかぶせる前にアームレストを外します。プラスチックのフタを外して中のボルトを外します。



②ヘッドレストを外し、背もたれカバーをかぶせます。肩の部分のラインとヘッドレストの穴位置が合うように入れ込んでいきます。



③座面と背もたれの間にシートカバーを入れ込みます。シートカバーにプラスチックの部品が付いていますので、シートカバーや手を傷付けないようご注意下さい。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地ののびを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑤①～③の順番にカバーをなで下ろしてシートに密着させるようにしわをなくしていきます。



⑥③で入れ込んだ部分を後ろから引き出して、プラスチックのフックを→の位置に固定します。ここはシートの生地を針金で留めてある部分です。



⑦プラスチックのフックを端の方から入れていきます。入りにくい場合はフックの部分をドライバーなどで広げると入りやすくなります。



⑧背面のプラスチックカバーにシートカバーを入れ込みます。



⑨シートカバー背面下のヒモを固定します。片側のヒモで輪を作り、反対側のヒモを通してから絞り込んで結びます。

⚠ 注意 ⚡

サイドエアバッグが装備されているシートでは、⑥⑦⑧⑨の固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。

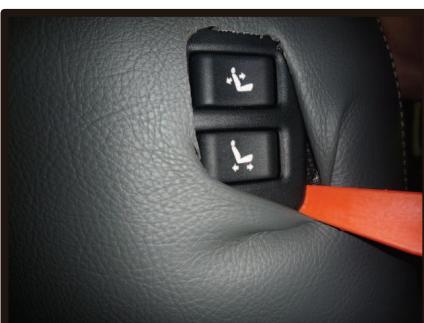


⑩余ったヒモはプラスチックカバーの中に押し込みます。

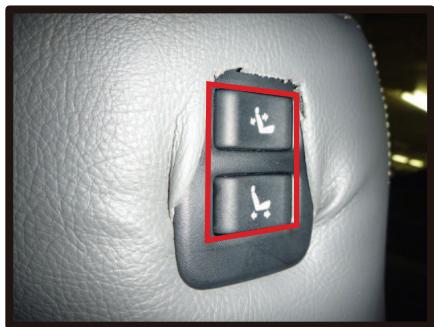


⑪サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。

背もたれ部分の完成です。反対側の背もたれには、内側側面にスイッチが付いていますので、⑫⑬⑭の説明をご覧下さい。カバーは運転席側同様に取り付けます。



⑫助手席内側のスイッチ部分です。スイッチとカバーの穴位置がしっかりと合っているか確認して、スイッチのフチに生地を入れ込んでいきます。始めにスイッチの角からヘラなどを利用して生地を入れ込みます。フチの隙間は大変狭くなっているので、作業は慎重に行って下さい。



⑬スイッチ部分の片側に生地をしっかりと入れ込みます。生地は図の赤枠で囲んでいる部分まで入り込みます。



⑭全ての生地をスイッチ部分のフチに入れ込んだ図です。フチ周りの生地にシワがよらないように、入れ込んだ生地を均等に伸ばして整えて下さい。

2列目座面



①オットマンを一番上の位置にして座面カバーをかぶせます。オットマンの先端部分からもぐり込ますようにかぶせていきます。



④座面外側のレバーを持ち上げた部分にあるネジを緩めます。



②座面と背もたれの間にシートカバーを入れ込み、後ろ側から引き出します。



⑤シート両横のラインを合わせながらプラスチックカバーの隙間にシートカバーを入れ込みます。



③②で引き出した部分をシート本体にマジックテープで固定します。



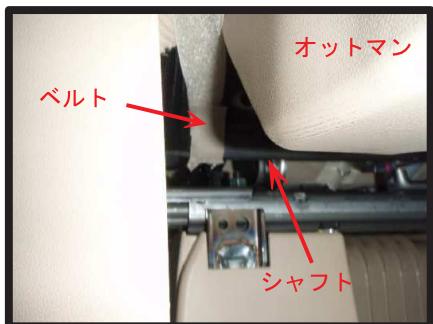
⑥残りの部分はヘラ等で隙間に入れ込みます。隙間が大変狭いので、少しづつ入れ込んでいって下さい。



⑦側面部分をすべて入れ込んだら④で緩めたネジを締め直してください。次に、マジックテープベルトとゴムを固定します。



⑩座面部分の完成です。



⑧座面下にベルトを引き込み、図の位置のシャフトに巻き付けて固定します。



⑪図はオットマンを収納した状態です。



⑨オットマン下のゴムは左右をS字フックで留めます。

2列目背もたれ



①背もたれカバーをかぶせます。後ろのファスナーを外してシートベルトとシートの間にカバーをくぐらせるようにします。



②背面のファスナーを閉じます。左右の生地を寄せながらゆっくりとファスナーを閉じて下さい。カバーからみ出したファスナー部分は、ファスナーを折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



③シートベルト取り付け部分のカバーに生地を入れ込みます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地ののびを利用して横からもぐり込みますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑤座面と背もたれの間にシートカバーを入れ込みます。



⑥1列目と同様に、肩のラインから下になで下ろしてシートに密着させていきます。



⑦⑤で引き出した部分と背面のマジックテープを固定します。



⑩シートカバーをレバー本体で挟み込んだ状態でネジを締め直し、固定します。



⑧背面のレバー部分を外します。レバーアー奥のパネルの隙間に細い物を差し込んでパネルを外すとネジが見えますので、+ドライバーで外します。



⑪背もたれ部分の完成です。反対側も同様に取り付けます。



⑨レバー本体を引き下げるようにして外します。

3列目座面



①座面カバーをかぶせます。車体外側の角の部分に引っ掛けるようにしてシートの形に合わせます。



④窓側側面の生地には、マジックテープが付いていますので、図のようにシートの隙間にに入れ込み、シートに直接固定して下さい。



②反対側の角もかぶせて座面全体に形を合わせます。



⑤シートベルト部にあたる生地を中に入れ込みます。



③マジックテープの付いた生地を背もたれと座面の隙間にに入れ込みます。



⑥生地を入れ込み、シートベルトを取り出すと図のようになります。



⑦座席を指定位置までスライドさせ、跳ね上げます。
跳ね上げた座面の下側の生地をマジックテープで固定します。



⑩③で入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出し、マジックテープで固定します。



⑧座面上側にあるシート吊り下げ用ベルトを、カバーの切れ込みに通します。



⑪座席を元に戻し、シートの表面を整えて、3列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



⑨座席跳ね上げ用レバーをかわすようにレバーの下側へ生地を通します。

3列目背もたれ



①始めにアームレストを外します。
ヘラ等を使い、アームレスト側面の
キャップを外します。



②キャップを外すと、中にナットが
あります。
※ナットまで少し距離があります。



③通常のソケットではナットに届きま
せんので、ソケットの長さが40mm
以上の長めのソケットを使用して下
さい。



④ソケットレンチ等でナットを外しま
す。アームレストを外すと背もたれ
から軸が飛び出した状態になります
ので、シートカバー取り付けの際は
怪我をされないようご注意下さい。



⑤背もたれのカバーを半分ほど裏返し
た状態で、シートにかぶせます。
肩口の部分をシートのラインに合わ
せて下さい。



⑥カバーを左右均等に引き下げていき
ます。アームレスト取り付け部は図
のようにカバーの穴位置でかわしま
す。



⑦背もたれと座面の隙間に、マジックテープの付いた生地を入れ込みます。



⑩シートの表面を整えて、3列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑧1、2列目同様に、ヘッドレストの台座部分を取り出します。



※運転席側背もたれ後部のヘッドレスト収納部は、図のようにファスナーを開閉することで使用可能です。



⑨背もたれを前に倒し、⑦で入れ込んだ生地を後ろ側へ引き出し、マジックテープで固定します。

1列目ヘッドレスト



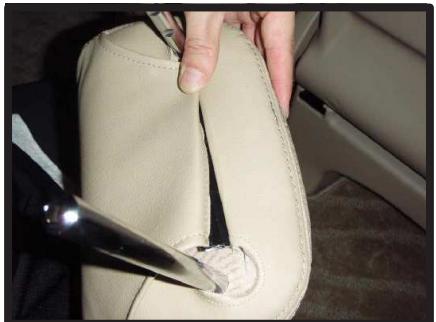
①カバーの前後を確認します。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。上から左右均等にかぶせます。



②ヘッドレスト本体を圧縮しながら入れ込んでいきます。縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行って下さい。



③ヘッドレストを背もたれから取り外し、プラスチックのフックでカバーを固定します。



④平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。



⑤写真はフック部分の断面図です。平らなプラスチック部品を反対側のフックの溝に生地ごと押し込みます。



⑥ヘッドレストの底面は写真のように収まります。ヘッドレストを背もたれに取り付け直して完成です。

2列目ヘッドレスト



①ヘッドレストをシートから取り外します。シャフトにカバーの穴を通して後ろ側からかぶせます。



④両横の部分のカバーをかぶせます。
ヘッドレスト本体を圧縮しながら均等に入れ込んでいきます。



②形状に合わせながら前側のカバーをかぶせていきます。



⑤両横の部分を前後に動かしながらカバーを本体との隙間に入れ込みます。



③側面と底のマジックテープを固定します。



⑥ヘッドレストをシートに取り付け直して完成です。

3列目ヘッドレスト



①カバーの前後を確認します。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。前側からもぐり込ますようにかぶせます。



④1列目と同様にプラスチックのフックで固定して完成です。



②ヘッドレストカバーを後ろにずらしながらヘッドレスト本体を圧縮して入れ込むようにします。



⑤3列目のセンターへッドレストにカバーをかぶせます。1、2列目と同様にヘッドレスト本体を圧縮しながら入れ込んでいきます。



③ヘッドレストを背もたれから取り外し、プラスチックのフックでカバーを固定します。



⑥全体をかぶせたら下側のマジックテープで固定して完成です。

アームレスト 1、3列目



①アームレストカバーをかぶせます。
先端までしっかりと入れ込みます。



②アームレストはシートから外した状態でファスナーをゆっくり閉めていきます。いったん閉めたファスナーを開けボルトを差し込む方のカバーを外します。



③アームレスト内側のツメをシート本体に合わせてシートに取り付けます。
丸いプラスチックのカバーを戻して
ファスナーを閉めると完成です。

アームレスト 2列目



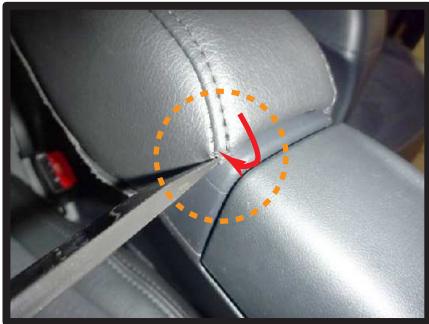
①2列目内側のアームレストです。
アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。



②カバー先端の生地を図の隙間にへらなどを使用して入れ込みます。
※この際、使用する工具でプラスチック部に傷を付けたりする恐れがありますので、作業は慎重に行って下さい。



③側面の先に生地を入れ込みます。こちらが一番隙間の狭い部分になります。生地が入り込む角度を確認して慎重に入れ込んで下さい。



④図の角に生地のつなぎ目が見えないように、生地を巻き込むように入れ込みます。



⑤カバー側面の生地を隙間に入れ込みます。この際カバーのラインがずれないようにしっかりと押さえながら作業を行うようにします。また、生地を斜め後ろへ入れ込むようにすると生地が伸びてアームレストの後方で生地が余ります。生地は必ず真上へ入れ込むようにして下さい。



⑥両側面の生地を入れ込んだら、最後にアームレストの後方部分にも生地を入れ込み固定します。



⑦アームレストを真上から見てカバーのラインを確認をします。カバーの縫い目のラインが側面側に寄っている場合や、カバーにズレがある場合は、再度取り付けの調整を行って下さい。



⑧カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。
外側のアームレストも一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

フットレスト



①最初にカバーのファスナーを開きます。



④生地端のファスナー部分を背もたれとフットレストの隙間に入れ込みます。



②カバーを半分ほど折り返してフットレストにかぶせます。



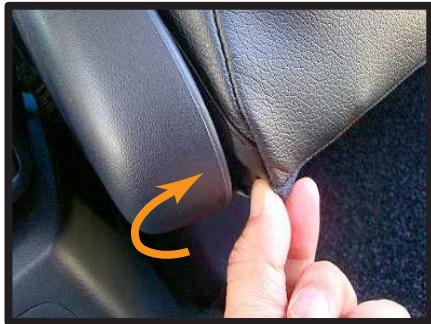
⑤フットレストを背もたれ側に起こして、生地を引き出します。
フットレストの下側で左右の生地を寄せながらファスナーを閉めます。



③先端に生地の余りがなくなるまで入れ込み下まで引き下げます。



⑥ファスナーを端まで閉じると先がはみ出します。



⑦はみ出したファスナーはカバーの中へ入れ込みます。



⑧カバーのラインを整えてフットレストの完成です。



⑥レバー部分の周りはプラスチックカバーに凹みがあるため、カバーは浮きます。カバーの裏側に両面テープを貼る等をしてプラスチックカバー — 21 — に直接貼り付けてください。

完成図



1列目



2列目



3列目



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- ① 保証期間であれば、故意でない通常使用における
糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

※一部商品は対象外です。



- ② シートカバーの補修及び単品パーツの販売をして
います。



- ③ シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売
をしています。
(巾135cm・メーター単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の
違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

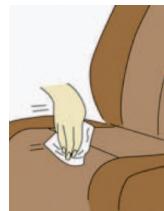
40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。



⚠ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。

PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。

一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816